

地域福祉サービスセンター ソレイユ

《5つの領域プログラム》

健康・生活

- 来所時の検温、手洗い、うがいの実施。連絡ノートや学校からの申し送りを受け、心身の状態の把握を行います。
- 季節に合った旬の食事を提供し、食に対し興味がわき、楽しく食事ができるように支援します。また、嚥下状態の把握を行い、適切な食形態で食事を提供し、必要に応じ、食事時の姿勢や自助具に関する支援を行います。
- 日常生活動作の習得に向け、他職種と連携を図り支援します。

運動・感覚

- 創作活動等の微細動作や運動等の粗大動作を取り入れ支援します。
- 活動を通し五感を刺激し、保有する感覚を十分に活用できるように支援します。
- 感覚の偏りに特性のある児へ環境調整等の支援を行います。

認知・行動

- 当日のスケジュール等、特性に合わせた方法で情報を収集できるように支援します。
- 行動の切り替えを、タイマー等を用い視覚や聴覚にて促しを行い、行動の手掛かりとなるよう支援します。
- 季節のカレンダー作り等、季節感のある活動を取り入れ感覚を活用する発達を促します。

言語・コミュニケーション

- 障害、発達に応じたコミュニケーション手段を確立できるように支援します。
- 異年齢との交流の機会を持ち、他児者と関わりながら意思伝達ができるよう支援します。

人間関係・社会性

- 日頃の関りの中から、信頼関係が形成できるように支援します。
- 活動を通し、手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるように支援します。
- 感覚機能を使った遊びや、運動機能を働かせる遊び、ごっこ遊びを通し徐々に社会性の発達を支援します。
- 地域社会の一員として過ごせるよう、社会資源を活用し、地域に出向く機会を設けます。

